

ようこそ

Expatria
Mobility Redefined

すべての駐在員管理サービスを、
ワンストップで!

パンフレットはこちら



☎ +91-95991-98950

お問い合わせください

enquiry@expatria.in

YOKOSO
11
2024 NOV VOL. 118
無料



メールでのお問い合わせは
こちらをスキャン

毎月1回1日発行 2024年9月31日発行 第11巻第10号 北インド版

今月の特集

インドの伝統芸術



冬の足音が
聴こえてきたら

FORMULA GROUP
Mobility Managed.®



www.formulaindia.co.jp



マナン・アガルワル
(Manan Agarwal)

✉ manan.agarwal@krayman.com



菅原久子

✉ hisako.sugawara@krayman.com



ラジニッシュ・クマール
(Rajnish Kumar)

✉ rajnish.kumar@krayman.com



松田博司
日本公認会計士

✉ hiroshi.matsuda@krayman.com

半導体企業向けデザインリンクインセンティブ (DLI) 制度の利点

企業がDLI制度から得られる利点

インドのデザイン・リンク・インセンティブ (DLI) 制度は、半導体設計産業を成長させ、電子機器製造のグローバルハブとなるための主要な取り組みの一環です。インドは優れた半導体エンジニアのプールを有し、政府からの支援も増加しています。この制度は、外国企業、特に日本企業にとって大きな機会を提供します。

DLI制度が重要な理由

半導体はすべての電子製品の重要な部品であり、インド政府は強く自給自足の半導体産業を創出したいと考えています。デザイン・リンク・インセンティブ (DLI) 制度は、半導体を設計する企業に対して経済的支援とサポートを提供します。これには、集積回路 (IC)、システムオンチップ (SoC)、チップセットなど、幅広い製品が含まれます。

企業が得られるメリット

半導体ビジネスを成長させたい企業にとって、インドはこの制度を通じて素晴らしい機会を提供します：

1. 経済的支援：企業は半導体設計費用の最大50%を補助され、5年間にわたって売上上の4~6%を還元される可能性があります。
2. コラボレーション[※]：DLI制度は、外国企業がインドの現地企業と提携することを奨励します。これにより、インドのスタートアップや技術企業と協力して先進的な半導体技術を開発することができます。
3. 成長市場へのアクセス：インドが独自の半導体産業を構築しようとしている中で、インド企業と提携することで、手頃なリソースと大規模な電子機器市場にアクセスできるようになります。

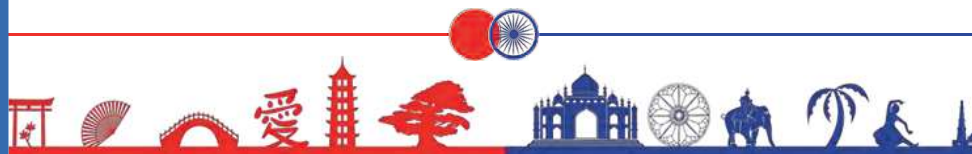
DLI制度の適格性

DLI制度のインセンティブを受けるためには、申請者が以下の条件を満たす必要があります：

- ・ 申請可能者：半導体設計または関連活動に従事している国内企業、スタートアップ、MSME (中小企業) がこの制度に申請できます。
- ・ 国内ステータス要件：承認された申請者は、インセンティブを申請した後、3年間は国内ステータスを維持しなければなりません。具体的には、資本の50%以上がインドの居住者または彼らが支配するインド企業によって実質的に所有されている必要があります。

申請は異なるカテゴリの下で行うことができます：

- ・ デザイン・インフラ支援：この支援は、半導体設計技術を向上させたいスタートアップや中小企業 (MSME) 向けです。デザインツール、ソフトウェア、ハードウェア、テスト施設の設置に対する経済的支援が含まれています。政府は、小規模企業が独自の半導体デザインを作成することを奨励し、業界の革新と競争を促進することを目指しています。
- ・ 製品デザイン・リンク・インセンティブ (P-DLI)：スタートアップやMSMEは、自社の製品デザイン努力を評価するインセンティブに申請できます。このインセンティブは、新しい半導体製品の開発や既存製品の改善を行う企業を支援し、研究開発 (R&D) への投資を促進し、革新的な製品を市場に投入することを可能にします。
- ・ デプロイメント・リンク・インセンティブ (DLI)：このインセンティブは、地元企業、スタートアップ、MSMEが自社の半導体製品を販売するために利用できます。経済的な報酬は、新製品の販売成績に基づいています。インセンティブを販売成功にリンクさせることで、DLIは企業に革新を促し、自社製品を効果的にマーケティングすることを奨励し、インドの半導体産業の成長に貢献します。



インドの半導体成長計画

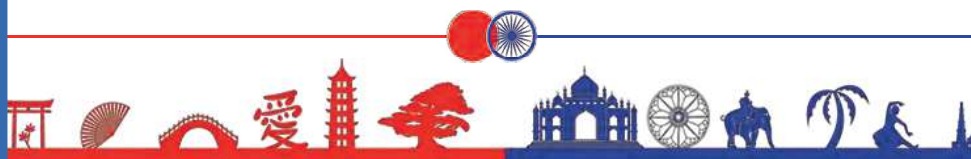
インド政府は、半導体製造と設計の発展のために76,000クロール(約100億ドル)を投資することを決定しました。これには、半導体ファブやディスプレイ製造施設の設定が含まれており、インドにおける最先端技術プロジェクトへの投資機会を長期的に提供します。

DLIスキームは、インドのグローバルな半導体産業における地位を強化するだけでなく、企業が協力し、投資し、インドの電子産業の拡大において成長するための有望な機会を提供します。

SBIホールディングス、台湾半導体大手PSMCとの合弁解消へ

PSMCがSBIとの宮城工場建設計画から撤退し、インドへの進出を計画しています。これにより、PSMCは日本国内でのプロジェクトを見送る一方、インド市場での成長を目指す方針にシフトしています。インドでの半導体工場建設は、グローバルな半導体需要の増加に対応する重要なステップとされています。今後の動向に注目が集まります。

クレイマンに関しまして: KrayMan Consultants LLP (KrayMan) は、グルグラムに本社を置き、インド全土の日系クライアントにサービスを提供している会計・アドバイザリーファームです。インド進出、会計、保証、税務、規制、トランザクション・アドバイザリー、M&A、法務、人事・給与サービスなどに特化しています。私たちは、勸許会計士(CPA)、会社秘書、弁護士、MBAで構成されるプロフェッショナルチームです。詳細については、弊社ウェブサイトwww.krayman.com/jpをご覧ください。サポートが必要な場合は、communications@krayman.comまでご連絡ください。



発行部数
8,000部/毎月



+91-83770-11095 (英語)